

地域経済論

担当者 西嶋 淳

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

地域の概念及び地域の空間構造、地域経済学の基礎、地域経済政策の基本的な考え方について解説します。

●講義の到達目標

地域経済学の基本的な知識や考え方を理解し、その概略を説明できるようになる。その上で地域経済の本質に対する考察を深めることにより、実践的な地域経済政策を考えるための基礎的な能力を習得することを目標とします。

●講義計画

- 第1回：はじめに 地域の概念と地域経済学
- 第2回：立地論
- 第3回：空間的競争
- 第4回：外部性と産業集積
- 第5回：地域経済の基本構造
- 第6回：需要主導型の成長モデル
- 第7回：供給主導型の成長モデル
- 第8回：地域間格差
- 第9回：地域間の人口移動
- 第10回：比較優位と地域間交易
- 第11回：産業内交易
- 第12回：地域経済と金融
- 第13回：今後の地域開発のあり方
- 第14回：地域経済政策の手段
- 第15回：まとめ 地域経済の本質と今後の地域経済政策

●成績評価基準と方法

①評価方法

講義中の発表・討論（50%）、期末レポート（50%）により総合的に評価します。

②評価基準

- ・地域経済学の基本的な知識や考え方を理解し、その概略を説明できるか。
- ・問題を客観的に捉える思考方法により地域経済の問題点を発表・討論において適切に説明できるか。
- ・地域経済政策を考えるために必要となる基本的な分析方法を習得し、これを活用して問題解決のための提案等を適切な文章にまとめることができるか。

●テキスト又は参考文献

—テキスト—

次の文献のほか、必要に応じて適宜配布します。

- ・山田浩之・徳岡一幸 『地域経済学入門 [新版]』 有斐閣 2007年 2,415円

—参考文献—

講義中に適宜紹介しますが、主要な参考文献は以下のとおりです。

- ・J. ジェイコブズ 『発展する地域 衰退する地域—地域が自立するための経済学』 筑摩書房 2012年 1,575円
- ・黒田達朗・田淵隆俊・中村良平 『都市と地域の経済学 [新版]』 有斐閣 2008年 2,625円
- ・H. アームストロング・J. テイラー 『[改訂版] 地域経済学と地域政策』 流通経済大学出版社 2005年 5,250円

●受講上の留意点

これまでの地域とのかかわりは受講生ごとに異なると思いますので、理解を深めるために教員による解説、受講生の発表及び討論を組み合わせた講義形式を基本とします。

指示に従い、円滑に発表・討論ができるように事前にレジュメ等を準備するようにして下さい。